

Ashiyagama
no
sato
opening
25th
anniversary

茶

住友コレクションの名品
と
復興芦屋釜

の湯釜の美



The beauty of Chanoyugama

Masterpieces of Sumitomo Collection and Revival Ashiyagama

住友家の美術品コレクションを所蔵する公益財団法人泉屋博古館（せんおくはくこかん）。中国古代青銅器をはじめとする多彩なコレクションを有しています。その中でも、近年注目を集めるのが茶の湯釜コレクション。室町時代から近代までの作品を有し、かつ芦屋、天明、京、江戸、加賀等の主要産地の作品をバランス良く網羅しています。さらに、釜に当初から添う共箱が多いことも特徴であり、貴重な研究資料となっています。公益財団法人泉屋博古館と芦屋釜の里は、約10年にわたり共同研究や展覧会協力を行ってきました。この度、芦屋釜の里開園25周年を記念し、住友コレクションの茶の湯釜の名品と芦屋釜の里製作の茶の湯釜を展示する特別展を開催いたします。住友家の茶の湯釜コレクションは、ほぼすべて九州初公開です。この機会に、茶の湯釜の魅力をご堪能頂ければ幸いです。

秋季企画展 茶の湯釜の古今東西〜芦屋・天明・京・江戸・加賀〜

前期

「産地で楽しむ茶の湯釜」



9/15 Tue - 10/25 Sun

室町時代、茶の湯釜の産地で主に知られていたのは、芦屋と天明でした。桃山時代以降、茶の湯の隆盛にともない、京を中心に各地で茶の湯釜が造られるようになります。本展では、各産地で造られた茶の湯釜から、産地の特色を見ていきます。

〔主な展示品(予定)〕※左写真は③

- ① 芦屋松竹梅丸紋真形釜（江戸前期）〈芦屋〉
- ② 古天明姥口釜（室町後期）〈天明〉
- ③ 四方松虫釜（下間庄兵衛、江戸後期）〈京〉
- ④ 桐紋釜（名越弥五郎、江戸末期）〈江戸〉
- ⑤ 霰蒲団釜（宮崎寒雉、江戸前期）〈加賀〉

※写真は公益財団法人泉屋博古館蔵

後期

「釜師達の系譜」



10/27 Tue - 12/6 Sun

茶の湯釜の製作者を釜師とよびます。江戸時代前期頃から、釜師が釜の箱に自身の名前を記したり、印を押したりするようになると、作者が判明するようになります。本展では、釜師が判明する作品を中心に、彼らの系譜や作品の見どころを探ります。

〔主な展示品(予定)〕※左写真は⑤

- ① 常盤釜（大西浄寿、江戸後期）〈京・大西家〉
- ② 一燈好大四方釜（名越浄味、江戸中期）〈京・名越家〉
- ③ 筋兜切合釜唐金平丸風炉添（大西五郎左衛門）〈江戸・大西家〉
- ④ 仙叟好鉞霰釜（宮崎寒雉、江戸前期）〈加賀・宮崎家〉
- ⑤ 宗和好袋形菊鈿釜（田中平八、年代不詳）〈不明・田中平八〉

※写真は公益財団法人泉屋博古館蔵



芦屋釜の里 Tel: 093-223-5881

〒807-0141 福岡県遠賀郡芦屋町大字山鹿 1558-3

■JR 鹿児島本線遠賀川駅下車、芦屋タウンバス
芦屋釜の里前下車、徒歩すぐ

※バスの本数が少ないので事前に時間をご確認ください。

■JR 鹿児島本線折尾駅下車、北九州市営バス山鹿
郵便局前下車、徒歩10分

■国道3号線「今古賀交差点」から車で約10分

※福岡方面からは国道3号線高架を芦屋方面へ下りてください。

■JR 折尾駅からタクシーで20分